

# 中日会報

公益社団法人 中部日本書道会  
編集事務局 編集部  
〒450-0002 名古屋市中村区名駅二丁目45-19  
山ビル8階C号室  
電話 (583) 19000番  
FAX (583) 19100番  
http://www.cn-sho.or.jp  
info@cn-sho.or.jp  
印刷 株式会社 荒川印刷

## 理事長あいさつ



理事長  
伊藤仙游

令和七年度の期首を迎え、会員の皆様には益々ご健勝の御事とお喜び申し上げます。また、昨年度皆様から頂戴致しました温かいご支援・ご尽力に、心から御礼申し上げます。

今冬は強力な寒波が度々襲来して、大雪の被害などもあり厳しい寒さに震えた年でした。その後、少しずつ春めいて、三月も後半に入ると急激に暖かくなりました。日本人の大好きな桜は、帳尻を合わせるかのように一斉に咲き誇り、あちこちで満開の艶姿を披露し始めます。

桜が日本人にとって特別な存在であり、それは弥生時代まで遡ることなど昨年も書いておりますが、桜がこのように皆に好まれるのは、二・三輪から樹木全体へ開花するその艶やかな美しさと、一斉に散り始めるその散り際の潔さに、「もののあわれ」に通ずる感興を引き起こすためではないかと思えます。平安時代から宮中で始まった桜

の花見が、長い歴史の中で庶民へと広まり今に至る。書の世界と同様に、ここにも長い歴史と文化によって培われた伝統が息づいています。

昨年度本会は創立九十周年を迎え、さまざまな記念事業を実施致しました。どの事業も皆様方の献身的なご尽力とご支援により、盛大に開催されましたことを心から御礼申し上げます。ここからまた新たな一歩を進め、ユネスコの無形文化遺産登録も視野に入れ、書文化の更なる発展と継承に努めましょう。

既に出品票等が送られたところですが、本会の中心の事業である第七十四回中日書道展が動き出しております。企画委員・事務局一同一致協力して努めてまいりますので、昨年にも増して多くのご出品を頂きますよう、心からお願ひ申し上げます。

少子高齢化や諸物価の上昇など様々な要因により、出品数や会員数が減少しております。中部日本書道会の運営を円滑に行うためにも、指導者の諸先生方をはじめ会員の皆様には、是非ともご協力頂きますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝・ご発展を祈念申し上げ、稿を閉じさせていただきます。



## 目次

- 1 理事長あいさつ
- 2 令和六年度第四回理事会開催・第一回評議員会開催
- 3 令和六年度 第四回理事会・評議員会 中日書道会顕彰・講演会・祝賀懇談会 第七十五回記念中日書きぞめ展 一宮支部創立七十周年
- 4 令和六年度行事予定表「四月～九月」
- 5 第七十四回中日書道展日程表
- 6
- 7 令和六年度第四回理事会内容（抜粋）
- 8 第七十五回記念中日書きぞめ展賞状授与
- 9 第七十五回記念中日書きぞめ展受賞の喜び
- 10 第七十五回記念中日書きぞめ展入賞者
- 11 第四十一回読売書法展 当番審査員
- 12 第七十六回毎日書道展
- 13 支部だより
- 14
- 15
- 16
- 17
- 18
- 19

## 令和六年度

### 第四回理事会開催

日時 令和七年二月二日（日）十三時半  
会場 名古屋東急ホテル ゴシックの間

令和六年度第四回理事会が理事三十二名、監事三名の出席を得て開催されました。

松下英風副理事長の開会のことは、伊藤仙游理事長の挨拶ののち議事に入りました。

令和七年度事業計画案、令和七年度予算案、特別昇格者の承認、評議員の承認、正会員の承認、中日書道展の審査会員の承認、新役員選考委員の選出に関する件につきまして、慎重審議が行われ、全会一致で承認されました。

理事会の詳細内容は、P7～13に記載



## 令和六年度

### 第一回評議員会開催

日時 令和七年二月二日（日）十五時半  
会場 名古屋東急ホテル ルネッサンスの間

令和六年度評議員会が二三名の出席を得て開催されました。岡野楠亭副理事長の開会のことは、安藤滴水名誉副会長の挨拶ののち伊藤仙游理事長の進行で開催されました。先に開催されました理事会の報告会という形で開催され、資料を基に詳細に報告されました。閉会のことばは加藤裕副理事長がされました。

引き続き、令和六年度顕彰が行われ、表彰者に花束、記念品が授与されました。

その後、「講演会」「祝賀懇談会」が開催されました。



# 令和 6 年度 第 4 回理事会・評議員会 中日書道会顕彰・講演会 祝賀懇談会

## 祝賀懇談会を終えて

厚生部長 伊藤 昌 園

令和七年二月二日（日）、名古屋東急ホテル・ルネッサンスの間にて、評議員会、顕彰式典、講演会を終えた後、会場をヴェルサイユに移し、午後六時より、松下英風副理事長による開会のお言葉で、祝賀懇談会が開宴いたしました。続いて神田真秋名誉会長からは「昨年開催された九十周年記念事業が、無事に終了し、今後は百周年に向けて会員の皆様には、より以上のご理解ご協力を」とのお言葉を賜りました。天野白雲総務部長から、今回ご講演いただいた中京大学教授 風間孝先生をはじめ、常任顧問の先生方、司法書士興水城治先生、税理士谷田義弘先生のご紹介があり、その後顕彰式典で表彰されていなかった

た方への表彰と、各受賞者が、水野峯翠褒賞部長より紹介されました。祝宴は伊藤昌石常任顧問による乾杯のご発声ではじまり、皆さま終始楽しそうに話が弾んだ様子でした。最後に、横井宏軒副理事長兼事務局長から閉会の言葉を賜り。祝賀懇談会は滞りなく終宴いたしました。出席者は昨年より二十名近く増加し、二五九名となりました。今回からは、皆様のご要望が多かった、座席指定いたしました。皆様を楽しそうにご歓談されていた様子を目にし、非常に手間でしたが、報われた気がいたしました。最後ではございますが、ご出席いただきました先生方に心より感謝申し上げます。

## 令和六年度講演会を開催して

研究部長 廣 澤 凌 舟

講 師 中京大学教授 風 間 孝 先生  
演 題 「性の多様性とは  
～互いの性のあり方を認め合う～」

令和七年二月二日（日）名古屋東急ホテル三階ルネッサンスの間におきまして令和六年度講演会を開催いたしました。

講師に中京大学教授、風間孝先生をお迎えし「性の多様性とは～お互いを認め合う～」という演題でご講演をいただきました。「人権」「性差別」等、デリケートな問題を様々な角度からお話しいただき、参加者からは「何事も理解する事が大切なのですね」「とてもわかりやすくお話しいただき時間が経つのがあっという間でした」等のお言葉をいただきました。

最後になりましたが、ご多用中にも拘わらずご講演いただきました風間孝先生に厚く御礼申し上げます。その節には、是非ご来年度も講演会を開催予定でございます。その節には、是非ご参加下さいようお願いいたします。

中京大学教授 風間 孝 先生



祝賀懇談会風景



神田真秋名誉会長  
挨拶



日展・会員賞  
岡野楠亭先生



東海テレビ文化賞  
近藤浩平先生



日展名古屋展・東海テレビ賞  
伊藤小游先生



日展名古屋展・CBC 賞  
加藤紫雲先生



風間 孝先生



講演会風景



## 令和六年度・顕彰表彰を開催して

褒賞部長 水野 峯 翠

二月二日（日）、令和六年度理事会・評議員会に続き、中日書道会顕彰表彰が、名古屋東急ホテル三階ルネッサンスの間、祝賀懇談会場ヴェルサイユの間において開催されました。

第五十六回東海テレビ文化賞をご受賞されました常任顧問近藤浩平先生に名誉会長神田真秋様より花束が贈呈され、第十一回日展・会員賞をご受賞されました副理事長岡野楠亭先生には、名誉副会長安藤滴水先生より花束が贈呈されました。また、第十一回日展・名古屋展においてCBC賞をご受賞の先生には名誉会長神田真秋様より、東海テレビ賞をご受賞の先生には名誉副会長鬼頭翔雲先生から花束が、嬉しい日展初入選十三名の皆様には、記念品が贈呈されました。そして第四十回読売書法展、読売準大賞四名、読売新聞社賞二名の先生方には名誉副会長鬼頭翔雲先生より、第七十五回毎日書道展会員賞二名の先生方に、名誉副会長安藤滴水先生からそれぞれ記念品が贈呈されました。

ご出席いただきました多くの会員の皆様からは、お祝いの大きな拍手を頂戴し、令和六年度の顕彰表彰は無事終了いたしました。



読売準大賞の先生



毎日展会員賞の先生 読売新聞社賞の先生



日展初入選者の皆様

## 第75回 中日書きぞめ展

出品点数 11,867点

## 第七十五回記念中日書きぞめ展を終えて

第一教育部長 武内 峰 敏

初日は、あいにくの雨模様となりましたが、ストリートピアノが絶え間なく流れる会場へは、八〇〇人を越える来場者があり、盛況のうちにスタートしました。会場周辺の桜もちらほらと咲き始め開会を祝福していました。

令和七年三月十五日（土）・十六日（日）ナディアパーク二階アトリウム（矢場町）にて第七十五回記念中日書きぞめ展を開催いたしました。総出品点数一八六七点の内、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞から奨励賞までの一〇二四点の作品を展示いたしました。

十六日（日）厳粛なうちに授賞式が終わりました。その後、展示会場は賞状・商品を手で抱えての記念撮影会で大賑わいとなり、喜びの会話と素敵な笑顔が溢れていました。

また、愛知県美術館で六月開催の中日書道展に上位九十七点の作品を展示いたします。

最後になりましたが、「書きぞめ展」にご参加ご協力をいただきました皆様にお礼感謝申し上げます。



賑う書きぞめ展会場



作品前で記念撮影



# 一宮支部創立70周年



創立70周年記念講習会



祝賀交流会神田真秋名誉会長ご祝辞



創立70周年記念展「宝の書」風景



創立70周年記念祝賀交流会風景

## 一宮支部創立七十周年を迎えて

一宮支部長 村上 史 麗

令和六年度は、昭和二十九年五月十六日に一宮支部発足以来創立七十周年を迎える年となりました。初代支部長森一峰氏から十五人の支部長により継承してまいりました。

各支部長始め多くの会員の方々の弛まぬ努力により積み上げられたすばらしい伝統に心より敬意を表するものがあります。

さて記念事業として十月二十七日（日）一宮市民会館にて、講師に一宮支部相談役則武 穹先生をお迎えしまして一ツキ板を使って楽しい色紙を作りましょうーを実施いたしました。支部員三十六名、会員外二十四名計六十名のご参加でした。小学生の参加もありお父さんお母さんと楽しく作成する姿がほほえましく感じました。

また十一月二十三日（土）、二十四日（日）の両日には第六十九回支部展が開催され、七十周年記念展として私の逸品「宝の書」の展示を併催いたしました。支部員の皆様が所有される師匠の書やご自身の思い出の書など三十点余りの作品を展示いたしました。懐かし

い先生方の書もあり、作品の前では清々しい空気も流れじつくりと見入る方々の姿が印象的でした。

令和七年一月二十六日（日）には支部集会・講演会に続き支部創立七十周年記念祝賀交流会を開催いたしました。公益社団法人中部日本書道会名誉会長 神田真秋様始め一宮市長中野正康様、公益社団法人中部日本書道会松下英風副理事長同じく横井宏軒副理事長等多くのご来賓の方々にお越しいただきご祝辞を賜りました。七十周年にふさわしいお言葉をいただき感謝で胸がいっぱいでした。

最後に真清田神社宮司辰守弘様に万歳三唱を行っていただき閉会となりました。

この度七十周年を迎えられました事は本部の先生方の長年のご支援・ご指導のお陰と改めてお礼申し上げます。

先輩の支部長が刊行しました一宮支部四十年の歩み・五十年の歩みのページを繰りながら、これからも一宮支部が増々発展出来ます様心より祈念したいと思います。

令和7年(2025)度 中部日本書道会 行事予定表「4月～9月」

※実施予定日が決まっている行事を掲載しました。  
※行事が変更になる場合がありますので、事前の案内でご確認下さい。

月	日	曜	本 部		支 部	
					「支部展・支部集会・交流会・講演会・研修会・学生（学童）書展」	
4月	17	木	中日展書類搬入（本部）			
5月	1	木	中日会報215号発送（予定）			
	8	木	中日展裏打ち作品搬入（電気文化会館）			
	9	金	中日展二科審査（一部）（電気文化会館）			
	10	土	中日展一科審査（一部）（二部～五部は、一科審査・二科審査）（電気文化会館）			
	11	日	中日展特別賞選考（電気文化会館）	中日展裏打ち作品搬出（電気文化会館）		
6月	8	日	中日展授賞式・祝賀会・総会（予定）			
	16	月		中日展作品搬入・陳列 （名古屋市民ギャラリー栄）		
	17	火	中日展作品搬入・陳列 第1期 （愛知県美術館ギャラリー）	中日展 二科作品（1部～5部）		
	18	水	中日展 第1期 審査顧問から依頼作品	〃		
	19	木	〃	〃		
	20	金	〃	〃		
	21	土	〃	〃		
	22	日	〃（作品搬出）	〃（作品搬出）		
	23	月				
	24	火	中日展作品搬入・陳列 第2期 （愛知県美術館ギャラリー）			
	25	水	中日展 第2期 無鑑査・一科・二科賞 作品			
	26	木	〃			
	27	金	〃			
	28	土	〃			
	29	日	〃（作品搬出）			
7月	1	火	中日展 第2期作品搬出②			
	4	金				第58回西三河支部学生書道展 （岡崎市美術館）
	5	土				〃
	6	日				〃
	8	火				第48回東三河支部展 （豊橋市美術博物館）
	9	水				〃
	10	木				〃
	11	金			第38回北勢支部展 （四日市市文化会館）	〃
	12	土			〃 一宮支部第52回七夕まつり学 生書道展・第31回七夕まつり 選抜作品展 （一宮スポーツ文化センター）	〃 東三河支部集会・講演会
	13	日			北勢支部展・支部集会・講演 会 一宮支部第52回七夕まつり学 生書道展・第31回七夕まつり 選抜作品展 （一宮スポーツ文化センター）	〃
	20	日			第2回半田支部学生展 （瀧上工業雁宿ホール）	
	21	月			〃	
8月	1	金			第38回濃飛支部展 （恵那文化センター）	
	2	土			〃	
	3	日			〃 濃飛支部集会・交流会	
	17	日			第10回半田支部公開書道研修 会（瀧上工業雁宿ホール）	
9月	26	金			第29回岐阜支部展 （岐阜市民会館）	
	27	土			〃	
	28	日			〃	

第七十四回 中日書道展日程表

二月 十四日	金	書類発送	発送予定
四月 十四日	月	書類（各取扱店の締切）	
十七日	木	書類搬入（取扱店）本部へ 中部日本書道会本部	受付午後一時～午後二時 作業午後四時まで
電気文化会館 東・西ギャラリー・イベントホール 五階			
五月 八日	木	依頼・無鑑査・一科・二科裏打ち作品搬入	午後一時～午後五時
九日	金	※1 部により二科・一科鑑審査の日時が違います。表末を確認下さい。	
十日	土	特別賞選考（依頼・無鑑査）	午前九時半～午後三時
十一日	日	裏打ち作品搬出	午後二時半～午後五時
愛知県芸術文化センター 県美ギャラリー 八階（A～I室）			
六月 十七日	火	審査顧問・常任顧問・理事・監事・顧問・参与以上・ 一科審査会員・二科審査会員・依頼 作品搬入・陳列 ※2・3	搬入午前九時半～午後五時 （主任以上） 陳列午後一時～午後五時
十八日 ～二十一日	水	右記作品展示	午前十時～午後六時
二十二日	日	右記作品展示 作品搬出	午前十時～午後四時 午後四時～午後五時半
二十四日	火	無鑑査・一科 作品搬入・陳列 ※3・4	搬入午前九時半～午後五時 陳列午後一時～午後五時 （主任以上）
二十五日 ～二十八日	水	右記作品展示	午前十時～午後六時
二十九日	日	右記作品展示 作品搬出①	午前十時～午後四時 午後四時～午後六時
七月 一日	火	作品搬出②	午前九時半～正午
名古屋市民ギャラリー栄 七・八階			
六月 十六日	月	二科作品 搬入・陳列	搬入 午後一時～午後五時 陳列
十七日 ～二十一日	火	作品展示	午前十時～午後六時
二十二日	日	作品展示 作品搬出	午前十時～午後四時半 午後四時半～午後六時

※1 一部（漢字）二科鑑審査は五月九日（金）午後一時～、一科鑑審査は五月十日（土）午後一時～

二部（かな）四部（少字数）五部（篆刻・刻字）は二科鑑審査を五月十日（土）午後一時～、

一科鑑審査を五月十日（土）午後三時～

三部（近代詩）は一科鑑審査を五月十日（土）午前九時三十分～、二科鑑審査を五月十日（土）

午後一時三十分～、ただし三部二科鑑審査員は写真撮影のため、午後一時に集合してください。

★右時間は開始時間です。余裕をもってご集合してください。

※2 書の匠展作家による揮毫会 六月二十一日（土）愛知県美術館ギャラリー八階 午後一時三十分より開催します。

※3 第七十五回記念中日書きぞめ展上位作品（二〇四点予定）を展示（第一期・第二期）

※4 障害者アーツ・アールブリュット「書」の展示

第二期六月二十五日（水）～二十九日（日）に愛知県美術館ギャラリー8F I室（予定）（第二期）

■御長寿作品（米寿）〈昭和十一年四月二日～昭和十二年四月一日生まれの方〉〈令和六年四月二日～令和七年四月一日に八十八才になられた方〉の展示について、すべて愛知県美術館ギャラリー8Fに展示します。

◆授賞式 六月八日（日）名古屋東急ホテル 四時～

◆祝賀会 六月八日（日）名古屋東急ホテル 六時半～

※都合により、第七十四回中日書道展授賞式及び祝賀会の日程が六月八日（日）に変更となりました。訂正して案内いたします。



令和六年度 公益社団法人 中部日本書道会  
第四回理事会の報告 (より 抜 粋)

令和六年度 公益社団法人 中部日本書道会  
第四回 理 事 会

第一号議案 令和七年度事業計画(案)に関する件  
第二号議案 令和七年度予算(案)に関する件

(1) 収支予算書

(2) 正味財産増減予算書

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて  
第三号議案 特別昇格者の承認に関する件

第四号議案 評議員の承認に関する件

第五号議案 正会員の承認に関する件

第六号議案 審査会員の承認に関する件

第七号議案 新役員選考委員の選出に関する件

第一号議案 令和七年度事業計画(案)に  
関する件

I 書道普及振興事業(公益目的事業)一  
覧表等の事業

本会は、出品作品の審査を行う公募展である  
中日書道展を企画運営することによって、従来  
より、書道文化の普及発展に寄与していること  
は周知されていることである。加えて、初心者、  
若年層および地域の書道愛好家のために、これ  
にふさわしい書道展の開催も必要不可欠である。  
そのため本会では、中日書きぞめ展、一  
宮支部学生展、半田支部学生展、西三河支部学  
生書道展、東三河こども書道展を出品作品審査  
を行う公募展として開催する。

また、書道芸術の発展のためには、書の技量の  
上達だけでなく、書に関する幅広い教養の習得  
も必要である。このため、本会では、書道教育研  
修会、公開講座、講演会、研修会を実施する。

(1) 第七十四回中日書道展

会期 令和七年六月十七日～二十九日

会場 愛知県芸術文化センター

愛知県美術館ギャラリー

名古屋市民ギャラリー栄

- (2) 第七十六回中日書きぞめ展  
会期 令和八年三月十四日～十五日  
会場 ナディアパーク アトリウム  
中日支部学生書道展  
・第五十三回一宮支部学生書道展  
会期 令和七年十一月二十二日～二十三日  
会場 一宮スポーツ文化センター  
・第二回半田支部学生展  
会期 令和七年七月  
場所 半田市福祉会館  
・第五十八回西三河支部学生書道展  
会期 令和七年七月四日～五日  
会場 岡崎市美術館  
・第五回東三河こども書道展  
会期 令和八年一月  
会場 豊橋市こども未来館(ここにこ)  
(4) 第三十七回書道教育研修会  
日時 令和七年十月十九日  
会場 名古屋国際センター  
(5) 第二十九回書の魅力 公開講座  
日時 令和七年十一月三十日  
会場 電気文化会館イベントホール  
(6) 講演会  
本部(令和八年二月)、一宮(令和八年二月)、  
半田(令和八年三月)、西三河(令和八年二  
月)、東三河(令和八年二月)、北勢(令和  
七年七月)、中南勢(令和七年十一月)、岐  
阜(令和八年二月)  
(7) 研修会・講習会  
一宮(令和七年十月)、半田(令和七年十一  
月)、東三河(令和七年十月・令和八年二月)、  
北勢(令和七年十一月・令和八年二月)、中  
南勢(令和七年十月)、岐阜(令和七年十一  
月)  
(8) 支部公開書道研修会  
支田 令和七年八月  
会場 半田市福祉文化会館  
(9) 第七回手書き文字年賀状コンクール(令和  
八年一月)

II 福祉事業(公益目的事業二)

本会では、従来より社会福祉法人への募金に  
よる社会事業への協力奉仕を行っている。引き  
続き本年度も、会員のうち有志から募金を募り、  
社会福祉法人中日新聞社会事業団および社会福  
祉法人東海テレビ福祉文化事業団に寄付をおこ  
なう。

(1) 令和七年チャリティー愛の募金  
期間 令和七年十月～十二月

III その他の事業(相互扶助等事業)

本会は、出品作品の審査を行わない公募展及  
び会員向け書道展として、書の匠展・書展展及  
び各支部において支部展を行う。

また、会員を対象として、本部講演会を開催  
して、会員の資質向上に寄与することとする。

支部においては、会員向け講習会・講演会を行  
い支部会員の資質向上に努めている。このほか、  
本会では会員の研鑽・資質向上のため、本部お  
よび各支部において記念事業、研究会、研修会、  
研修旅行を行う。

会員の福利厚生のために、必要とする事業を  
行う。

(1) 出品作品の審査を行わない公募展及び会員  
向け展覧会

① 第六回書の匠展・第三十四回書展  
会期 令和七年十一月二十六日～三十日  
会場 電気文化会館東・西ギャラリー

支部展

・第七十回記念一宮支部展  
会期 令和七年十一月二十二日～二十三日  
会場 一宮スポーツ文化センター

・第五十九回半田支部展  
会期 令和七年九月  
会場 半田市福祉文化会館

・第五十八回西三河支部会員展  
会期 令和八年二月十一日～十五日  
会場 岡崎市美術館

・第四十八回東三河支部展  
会期 令和七年七月八日～十三日  
会場 豊橋市美術館

・第三十八回濃飛支部展  
会期 令和七年八月一日～三日  
会場 恵那文化センター

・第三十八回北勢支部展  
会期 令和七年七月十一日～十三日  
会場 四日市市文化会館

・第三十八回中南勢支部展  
会期 令和七年十一月五日～九日  
会場 三重県立美術館県民ギャラリー

・第二十九回岐阜支部展  
会期 令和七年九月二十六日～二十八日  
会場 岐阜市民会館

研究会  
西三河(令和八年三月)

研修会  
西三河(令和七年十月)、濃飛(令和七年十一  
月)

(3) 交流会  
本部(令和七年六月・令和八年二月)、一宮  
(令和八年二月)、半田(令和八年三月)、濃  
飛(令和七年八月)、北勢(令和七年七月)、  
中南勢(令和七年十一月)、岐阜(令和七年  
九月)

(4) 福利厚生事業  
① 会員交流ボウリング大会  
日時 令和七年十二月  
会場 ディグワールド名古屋

(5) ② 塾総合保険  
その他各種事業

① 書道に関する調査研究および発表  
② 書道教育者の推薦書および看板の交付  
③ 外国研修旅行補助  
④ 組織拡大事業  
・会員章(門章・襟章)の交付  
・会員名簿の発行

⑤ 広報活動事業  
・中日会報(年三回)・支部会報の発行  
・ホームページによる情報提供

⑥ 資料文献収集保存事業  
⑦ 書道功労者等顕彰事業  
⑧ その他 各種行事

IV 管理業務

本会の事業遂行のため以下の会議を行う。

一 総会 一回(令和七年六月)

二 理事会 一回(令和七年四月、令和七年五  
月、令和七年六月、令和八年二月)

三 評議員会 一回(令和八年二月)

四 企画委員会 十二回(各月)

令和7年度収支予算書(案) 自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

科 目	令和7年度 予算額(A) 円	令和6年度 予算額(B) 円	増 減 (A)-(B) 円	説 明
1. 事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				3000万×0.002%
① 基本財産運用収入	6,020	600	5,420	定期利息、国債利息
② 特定資産運用収入	250,000	241,000	9,000	理事監事14000円 正職員給与等12000円 正職員5000円 准会員5000円 協賛会員25000円
③ 会費収入	518,000	518,000	0	
④ 理事監事受取会費収入	13,080,000	13,224,000	△ 144,000	
⑤ 正職員受取会費収入	14,008,000	15,336,000	△ 1,328,000	
⑥ 正会員受取会費収入	1,570,000	1,360,000	△ 210,000	
⑦ 准会員受取会費収入	925,000	1,560,000	△ 635,000	
⑧ 協賛会費収入	30,101,000	31,386,000	△ 1,287,000	
⑨ 事業費収入	1,260,000	1,380,000	△ 120,000	
⑩ 寿・匠書展参加料収入	3,995,000	4,089,000	△ 94,000	
⑪ 支部別内訳参照	3,850,000	4,232,500	△ 382,500	
⑫ 支部別内訳参照	0	0	0	
⑬ 支部別内訳参照	1,570,000	1,745,000	△ 175,000	
⑭ 支部別内訳参照	60,000	40,000	△ 20,000	
⑮ 支部別内訳参照	50,000	50,000	0	
⑯ 支部別内訳参照	160,000	200,000	△ 40,000	
⑰ 支部別内訳参照	120,000	240,000	△ 120,000	
⑱ 支部別内訳参照	200,000	180,000	△ 20,000	
⑲ 支部別内訳参照	30,000	30,000	0	
⑳ 支部別内訳参照	0	0	0	
㉑ 支部別内訳参照	41,633,500	43,095,000	△ 1,461,500	
㉒ 支部別内訳参照	5,000,000	5,000,000	0	
㉓ 支部別内訳参照	3,750,000	3,750,000	0	
㉔ 支部別内訳参照	11,000,000	11,000,000	0	
㉕ 支部別内訳参照	1,952,000	2,124,500	△ 172,500	
㉖ 支部別内訳参照	74,630,500	77,156,000	△ 2,525,500	
㉗ 支部別内訳参照	0	0	0	
㉘ 支部別内訳参照	0	70	430	
㉙ 支部別内訳参照	840,000	302,000	△ 538,000	
㉚ 支部別内訳参照	200,000	95,000	△ 105,000	
㉛ 支部別内訳参照	5,000	3,000	△ 2,000	
㉜ 支部別内訳参照	1,140,500	400,070	△ 740,430	
㉝ 支部別内訳参照	106,128,020	109,188,670	△ 3,057,650	
2. 事業活動支出の部				
2. 事業活動支出				
① 事業活動支出				
② 基本財産運用支出	550,000	600,000	△ 50,000	
③ 特定資産運用支出	955,000	1,056,000	△ 101,000	
④ 会費支出	5,809,000	5,956,000	△ 147,000	
⑤ 理事監事受取会費支出	180,300	114,500	△ 65,800	
⑥ 正職員受取会費支出	6,619,000	6,977,000	△ 358,000	
⑦ 正会員受取会費支出	2,318,000	2,411,000	△ 93,000	
⑧ 准会員受取会費支出	436,000	1,346,500	△ 912,500	
⑨ 協賛会費支出	7,445,300	7,806,200	△ 355,500	
⑩ 事業費支出	54,000	49,000	△ 5,000	
⑪ 寿・匠書展参加料支出	1,519,400	1,899,300	△ 379,900	
⑫ 正職員受取会費支出	130,500	124,500	△ 6,000	
⑬ 正会員受取会費支出	0	14,000	△ 14,000	
⑭ 准会員受取会費支出	5,717,750	6,946,400	△ 1,228,650	
⑮ 協賛会費支出	1,000	20,000	△ 19,000	
⑯ 事業費支出	398,000	369,000	△ 29,000	
⑰ 理事監事受取会費支出	888,000	692,000	△ 196,000	
⑱ 正職員受取会費支出	2,772,230	6,172,470	△ 3,400,240	
⑲ 正会員受取会費支出	3,200,000	3,300,000	△ 100,000	
⑳ 准会員受取会費支出	50,000	50,000	0	
㉑ 協賛会費支出	250,000	250,000	0	
㉒ 事業費支出	630,000	630,500	△ 500	
㉓ 理事監事受取会費支出	177,000	187,000	△ 10,000	
㉔ 正職員受取会費支出	229,500	238,000	△ 8,500	
㉕ 正会員受取会費支出	0	0	0	
㉖ 准会員受取会費支出	3,150,000	3,250,000	△ 100,000	
㉗ 協賛会費支出	11,000,000	11,000,000	0	
㉘ 事業費支出	1,952,000	2,124,500	△ 172,500	
㉙ 理事監事受取会費支出	62,101,980	69,256,670	△ 7,154,890	
事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
② 特定資産運用収入				
③ 会費収入				
④ 理事監事受取会費収入				
⑤ 正職員受取会費収入				
⑥ 正会員受取会費収入				
⑦ 准会員受取会費収入				
⑧ 協賛会費収入				
⑨ 事業費収入				
⑩ 寿・匠書展参加料収入				
⑪ 支部別内訳参照				
⑫ 支部別内訳参照				
⑬ 支部別内訳参照				
⑭ 支部別内訳参照				
⑮ 支部別内訳参照				
⑯ 支部別内訳参照				
⑰ 支部別内訳参照				
⑱ 支部別内訳参照				
⑲ 支部別内訳参照				
⑳ 支部別内訳参照				
㉑ 支部別内訳参照				
㉒ 支部別内訳参照				
㉓ 支部別内訳参照				
㉔ 支部別内訳参照				
㉕ 支部別内訳参照				
㉖ 支部別内訳参照				
㉗ 支部別内訳参照				
㉘ 支部別内訳参照				
㉙ 支部別内訳参照				
㉚ 支部別内訳参照				
㉛ 支部別内訳参照				
㉜ 支部別内訳参照				
㉝ 支部別内訳参照				
2. 事業活動支出の部				
2. 事業活動支出				
① 事業活動支出				
② 基本財産運用支出				
③ 特定資産運用支出				
④ 会費支出				
⑤ 理事監事受取会費支出				
⑥ 正職員受取会費支出				
⑦ 正会員受取会費支出				
⑧ 准会員受取会費支出				
⑨ 協賛会費支出				
⑩ 事業費支出				
⑪ 寿・匠書展参加料支出				
⑫ 正職員受取会費支出				
⑬ 正会員受取会費支出				
⑭ 准会員受取会費支出				
⑮ 協賛会費支出				
⑯ 事業費支出				
⑰ 理事監事受取会費支出				
⑱ 正職員受取会費支出				
⑲ 正会員受取会費支出				
⑳ 准会員受取会費支出				
㉑ 協賛会費支出				
㉒ 事業費支出				
㉓ 理事監事受取会費支出				
㉔ 正職員受取会費支出				
㉕ 正会員受取会費支出				
㉖ 准会員受取会費支出				
㉗ 協賛会費支出				
㉘ 事業費支出				
㉙ 理事監事受取会費支出				
㉚ 正職員受取会費支出				
㉛ 正会員受取会費支出				
㉜ 准会員受取会費支出				
㉝ 協賛会費支出				
㉞ 事業費支出				
㉟ 理事監事受取会費支出				
㊱ 正職員受取会費支出				
㊲ 正会員受取会費支出				
㊳ 准会員受取会費支出				
㊴ 協賛会費支出				
㊵ 事業費支出				
㊶ 理事監事受取会費支出				
㊷ 正職員受取会費支出				
㊸ 正会員受取会費支出				
㊹ 准会員受取会費支出				
㊺ 協賛会費支出				
㊻ 事業費支出				
㊼ 理事監事受取会費支出				
㊽ 正職員受取会費支出				
㊾ 正会員受取会費支出				
㊿ 准会員受取会費支出				
事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
② 特定資産運用収入				
③ 会費収入				
④ 理事監事受取会費収入				
⑤ 正職員受取会費収入				
⑥ 正会員受取会費収入				
⑦ 准会員受取会費収入				
⑧ 協賛会費収入				
⑨ 事業費収入				
⑩ 寿・匠書展参加料収入				
⑪ 支部別内訳参照				
⑫ 支部別内訳参照				
⑬ 支部別内訳参照				
⑭ 支部別内訳参照				
⑮ 支部別内訳参照				
⑯ 支部別内訳参照				
⑰ 支部別内訳参照				
⑱ 支部別内訳参照				
⑲ 支部別内訳参照				
⑳ 支部別内訳参照				
㉑ 支部別内訳参照				
㉒ 支部別内訳参照				
㉓ 支部別内訳参照				
㉔ 支部別内訳参照				
㉕ 支部別内訳参照				
㉖ 支部別内訳参照				
㉗ 支部別内訳参照				
㉘ 支部別内訳参照				
㉙ 支部別内訳参照				
㉚ 支部別内訳参照				
㉛ 支部別内訳参照				
㉜ 支部別内訳参照				
㉝ 支部別内訳参照				
2. 事業活動支出の部				
2. 事業活動支出				
① 事業活動支出				
② 基本財産運用支出				
③ 特定資産運用支出				
④ 会費支出				
⑤ 理事監事受取会費支出				
⑥ 正職員受取会費支出				
⑦ 正会員受取会費支出				
⑧ 准会員受取会費支出				
⑨ 協賛会費支出				
⑩ 事業費支出				
⑪ 寿・匠書展参加料支出				
⑫ 正職員受取会費支出				
⑬ 正会員受取会費支出				
⑭ 准会員受取会費支出				
⑮ 協賛会費支出				
⑯ 事業費支出				
⑰ 理事監事受取会費支出				
⑱ 正職員受取会費支出				
⑲ 正会員受取会費支出				
⑳ 准会員受取会費支出				
㉑ 協賛会費支出				
㉒ 事業費支出				
㉓ 理事監事受取会費支出				
㉔ 正職員受取会費支出				
㉕ 正会員受取会費支出				
㉖ 准会員受取会費支出				
㉗ 協賛会費支出				
㉘ 事業費支出				
㉙ 理事監事受取会費支出				
㉚ 正職員受取会費支出				
㉛ 正会員受取会費支出				
㉜ 准会員受取会費支出				
㉝ 協賛会費支出				
㉞ 事業費支出				
㉟ 理事監事受取会費支出				
㊱ 正職員受取会費支出				
㊲ 正会員受取会費支出				
㊳ 准会員受取会費支出				
㊴ 協賛会費支出				
㊵ 事業費支出				
㊶ 理事監事受取会費支出				
㊷ 正職員受取会費支出				
㊸ 正会員受取会費支出				
㊹ 准会員受取会費支出				
㊺ 協賛会費支出				
㊻ 事業費支出				
㊼ 理事監事受取会費支出				
㊽ 正職員受取会費支出				
㊾ 正会員受取会費支出				
㊿ 准会員受取会費支出				
事業活動収入の部				
1. 事業活動収入				
① 基本財産運用収入				
② 特定資産運用収入				
③ 会費収入				
④ 理事監事受取会費収入				
⑤ 正職員受取会費収入				
⑥ 正会員受取会費収入				
⑦ 准会員受取会費収入				
⑧ 協賛会費収入				
⑨ 事業費収入				
⑩ 寿・匠書展参加料収入				
⑪ 支部別内訳参照				
⑫ 支部別内訳参照				
⑬ 支部別内訳参照				
⑭ 支部別内訳参照				
⑮ 支部別内訳参照				
⑯ 支部別内訳参照				
⑰ 支部別内訳参照				
⑱ 支部別内訳参照				
⑲ 支部別内訳参照				
⑳ 支部別内訳参照				
㉑ 支部別内訳参照				
㉒ 支部別内訳参照				
㉓ 支部別内訳参照				
㉔ 支部別内訳参照				
㉕ 支部別内訳参照				
㉖ 支部別内訳参照				
㉗ 支部別内訳参照				
㉘ 支部別内訳参照				
㉙ 支部別内訳参照				
㉚ 支部別内訳参照				
㉛ 支部別内訳参照				
㉜ 支部別内訳参照				
㉝ 支部別内訳参照				
2. 事業活動支出の部				
2. 事業活動支出				
① 事業活動支出				
② 基本財産運用支出				
③ 特定資産運用支出				
④ 会費支出				
⑤ 理事監事受取会費支出				
⑥ 正職員受取会費支出				
⑦ 正会員受取会費支出				
⑧ 准会員受取会費支出				
⑨ 協賛会費支出				
⑩ 事業費支出				
⑪ 寿・匠書展参加料支出				
⑫ 正職員受取会費支出				
⑬ 正会員受取会費支出				
⑭ 准会員受取会費支出				
⑮ 協賛会費支出				
⑯ 事業費支出				
⑰ 理事監事受取会費支出				
⑱ 正職員受取会費支出				
⑲ 正会員受取会費支出				
⑳ 准会員受取会費支出				
㉑ 協賛会費支出				
㉒ 事業費支出				
㉓ 理事監事受取会費支出				
㉔ 正職員受取会費支出				
㉕ 正会員受取会費支出				
㉖ 准会員受取会費支出				
㉗ 協賛会費支出				
㉘ 事業費支出				
㉙ 理事監事受取会費支出				
㉚ 正職員受取会費支出				
㉛ 正会員受取会費支出				
㉜ 准会員受取会費支出				
㉝ 協賛会費支出				
㉞ 事業費支出				
㉟ 理事監事受取会費支出				
㊱ 正職員受取会費支出				
㊲ 正会員受取会費支出				
㊳ 准会員受取会費支出				
㊴ 協賛会費支出				

支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 理事監事会費	15,000	5,000	20,000	5,000	0	5,000	5,000	20,000	75,000
2 評議員参与会費	440,000	120,000	336,000	116,000	24,000	124,000	92,000	384,000	1,636,000
3 正会員会費	880,000	196,000	556,000	196,000	40,000	188,000	120,000	592,000	2,768,000
4 準会員会費	60,000	70,000	100,000	37,500	2,500	27,500	10,000	45,000	352,500
合 計	1,395,000	391,000	1,012,000	354,500	66,500	344,500	227,000	1,041,000	4,831,500
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 支部展収入	800,000	511,000	700,000	905,000	59,000	240,000	300,000	480,000	3,995,000
2 支部学生展収入	1,320,000	760,000	1,728,000	42,000	0	0	0	0	3,850,000
3 支部連技展収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4 支部研修会収入	120,000	300,000	0	280,000	0	390,000	360,000	120,000	1,570,000
5 支部講習会収入	0	0	0	60,000	0	0	0	0	60,000
6 支部交流会収入	800,000	300,000	0	0	62,000	150,000	160,000	480,000	1,952,000
7 負担金収入	95,000	0	0	0	0	0	0	0	95,000
合 計	3,135,000	1,871,000	2,428,000	1,287,000	121,000	780,000	820,000	1,080,000	11,522,000
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
1 講演会費	132,000	85,000	0	115,000	0	107,000	112,750	61,000	612,750
2 講習会費	0	0	0	40,000	0	72,500	0	0	112,500
3 研究会費	0	0	121,000	0	0	0	0	0	121,000
4 支部研修費	60,000	427,000	28,000	410,500	40,000	385,000	370,000	181,000	1,901,500
5 支部連技展費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 支部学生展費	1,713,000	760,000	1,812,000	80,000	0	0	0	0	4,365,000
7 支部展費	310,000	420,000	734,000	795,000	40,000	204,000	232,000	397,000	3,132,000
8 色紙展費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 普通道振興事業費	350,000	0	0	0	0	0	0	0	350,000
10 周年記念事業費	700,000	0	0	0	0	0	0	0	700,000
11 支部交流会費	800,000	300,000	0	0	62,000	150,000	160,000	480,000	1,952,000
事業費計	4,065,000	1,992,000	2,695,000	1,440,500	142,000	918,500	874,750	1,119,000	13,246,750
支部別内訳	一宮	半田	西三河	東三河	濃飛	北勢	中南勢	岐阜	合 計
支部事務所費	1,010,000	472,000	869,000	226,000	28,000	176,000	150,000	969,500	3,990,500
種立金	70,000	50,000	0	300,000	0	30,000	0	300,000	750,000
積立金取崩	700,000	0	0	0	0	0	0	0	700,000
支部収支差額	85,000	-252,000	-124,000	-325,000	17,500	0	22,250	-267,500	-843,750



科 目	令和7年度 予算額 (A) 円	令和6年度 予算額 (B) 円	増 減 (A) - (B) 円	説 明
② 支 出				
1 管理費	1,115,000	1,575,000	△ 460,000	支部事務所費含む
2 名譽会長代行報酬	207,000	207,000	0	
3 名譽副会長代行報酬	62,000	93,000	△ 31,000	
4 名譽顧問会長報酬	41,000	207,000	△ 21,000	
5 名譽顧問副会長報酬	112,000	207,000	△ 95,000	
6 名譽顧問副会長報酬	5,500,000	5,800,000	△ 300,000	
7 臨時職員給与・賞与	1,000,000	1,000,000	0	
8 臨時職員派遣社員	500,000	500,000	0	
9 臨時職員派遣社員	31,000	35,000	△ 4,000	
10 臨時職員派遣社員	1,430,000	1,540,000	△ 110,000	
11 臨時職員派遣社員	55,000	55,000	0	
12 臨時職員派遣社員	580,000	711,000	△ 131,000	
13 臨時職員派遣社員	2,769,000	2,717,000	△ 52,000	
14 臨時職員派遣社員	367,000	689,000	△ 322,000	
15 臨時職員派遣社員	748,000	395,000	△ 353,000	
16 臨時職員派遣社員	919,400	361,000	△ 558,400	
17 臨時職員派遣社員	505,000	4,839,500	△ 4,334,500	
18 臨時職員派遣社員	4,431,500	510,000	△ 3,921,500	
19 臨時職員派遣社員	495,000	8,000,000	△ 7,505,000	
20 臨時職員派遣社員	8,000,000	1,832,000	△ 6,168,000	
21 臨時職員派遣社員	1,814,000	100,000	△ 1,714,000	
22 臨時職員派遣社員	60,000	25,000	△ 35,000	
23 臨時職員派遣社員	25,000	52,000	△ 27,000	
24 臨時職員派遣社員	202,000	454,750	△ 252,750	
25 臨時職員派遣社員	439,000	350,000	△ 89,000	
26 臨時職員派遣社員	350,000	150,000	△ 200,000	
27 臨時職員派遣社員	9,000	11,000	△ 2,000	
28 臨時職員派遣社員	900,000	900,000	0	
29 臨時職員派遣社員	336,000	386,000	△ 50,000	
30 臨時職員派遣社員	367,000	696,000	△ 329,000	
31 臨時職員派遣社員	40,000	40,000	0	
32 臨時職員派遣社員	0	0	0	
33 臨時職員派遣社員	42,176,900	41,131,250	△ 1,045,650	
事業活動収入	104,278,880	110,388,120	△ 6,109,240	
事業活動収支差	18,491,140	△ 1,202,450	△ 19,692,590	
II 投資活動収入				
1 投資活動収入				
① 特定資産取得収入				
1 特定資産取得収入	0	0	0	
2 特定資産取得収入	0	0	0	
3 特定資産取得収入	0	0	0	
4 特定資産取得収入	0	0	0	
5 特定資産取得収入	0	0	0	
6 特定資産取得収入	0	0	0	
2 投資活動収入				
① 特定資産取得収入				
1 特定資産取得収入	144,000	144,000	0	
2 特定資産取得収入	50,000	50,000	0	
3 特定資産取得収入	0	0	0	
4 特定資産取得収入	500,000	500,000	0	
5 特定資産取得収入	0	500,000	△ 500,000	
6 特定資産取得収入	750,000	900,000	△ 150,000	
2 投資活動収入	1,444,000	2,094,000	△ 650,000	
投資活動収支差	0	0	0	
III 財務活動収入				
1 財務活動収入				
① 財務活動収入				
1 財務活動収入	1,444,000	2,094,000	△ 650,000	
2 財務活動収入	△ 244,000	1,806,008	△ 2,050,008	
財務活動収支差	0	0	0	
IV 繰越収支差額				
1 繰越収支差額	500,000	500,000	0	
2 繰越収支差額	1,105,140	1,035,582	△ 69,558	
3 繰越収支差額	6,992,496	6,888,938	△ 103,558	
4 繰越収支差額	8,097,636	6,992,496	△ 1,105,140	

備 考	増 減	説 明
中日展収入内訳		
1 審査委員会以上出品料	15,855,000	16,245,000
2 依頼・無鑑査出品料	10,062,000	10,660,000
3 二科出品料	5,100,000	5,400,000
4 若年層出品料	3,592,000	3,760,000
5 大場料	4,319,000	4,200,000
6 大場料	234,000	195,000
7 大場料	46,500	60,000
8 大場料	1,760,000	1,840,000
9 大場料	665,000	735,000
計	41,633,500	43,095,000
事業別内訳		
1 講演会費	1,075,750	1,099,000
2 春書展費	1,540,000	1,540,000
3 支部講習会費	112,500	118,500
4 支部研究費	121,000	122,000
5 支部研修会費	1,901,500	2,113,500
6 支部連枝展費	0	0
7 支部学生展費	4,365,000	4,774,500
8 支部展費	3,132,000	3,039,500
9 色紙展費	0	0
10 書道振興事業費	350,000	350,000
11 書道教育研修費	325,000	325,000
12 外国研修補助費	50,000	50,000
13 功労者等顕彰費	110,000	110,000
14 書道教育者養成費	50,000	50,000
15 書道教育者養成費	200,000	200,000
16 史跡探訪費	0	0
17 書道普及事業費	1,404,000	1,772,000
18 周年記念事業費	700,000	5,000,000
19 情報提供事業	45,000	45,000
20 調査研究費	8,000	8,000
21 資料収集費	63,000	63,000
22 公開講座費	297,000	297,000
23 中日書きぞめ展費	24,934,230	26,129,370
24 中日書きぞめ展費	4,556,000	5,102,000
25 手書き年賀状費	180,000	160,000
26 愛の募金費	3,340,000	3,374,000
27 会員交流	290,000	290,000
28 本部祝賀会	11,000,000	11,000,000
29 支部交流会費	1,952,000	2,124,500
計	62,101,980	69,256,870
管理費目別内訳		
1 会議費	4,165,000	3,043,000
(1) 総会	1,920,000	1,310,000
(2) 理事会	755,000	705,000
(3) 理事・評議員会	1,425,000	1,375,000
(4) 役員選考委員会	65,000	0
2 事務局費	28,371,000	29,404,000
3 支部事務所費	3,900,500	3,649,500
4 慶弔費	106,000	160,000
5 会報費	4,245,400	4,507,750
6 名簿費	1,389,000	20,000
計	42,176,900	41,131,250
事業及び管理合計	104,278,880	110,388,120
増 減	△ 6,109,240	

(2) 正味財産増減予算書

令和7年度 正味財産増減予算書 (案)

自 令和7年4月1日  
至 令和8年3月31日

科 目	令和7年度予算額 (A) 円	令和6年度予算額 (B) 円	増減 (A) - (B) 円	説 明
1 一般正味財産増減の部				
(1) 経常増減の部				
① 基本財産運用利息	6,020	600	5,420	
② 特定資産受取利息	250,000	241,000	9,000	
③ 受取監事受取会費	518,000	518,000	0	
1 評議員受取会費	13,080,000	13,224,000	△ 144,000	
2 正会員受取会費	14,008,000	15,336,000	△ 1,328,000	
3 正会員受取会費	1,570,000	1,360,000	210,000	
4 協賛会費	925,000	950,000	△ 25,000	
5 受取会費	30,101,000	31,388,000	△ 1,287,000	
④ 事業収支				
1 事業収支	1,260,000	1,380,000	△ 120,000	
2 支部収支	3,998,000	4,089,000	△ 94,000	
3 支部収支	3,850,000	4,232,500	△ 382,500	
4 支部収支	0	0	0	
5 支部収支	1,570,000	1,745,000	△ 175,000	
6 支部収支	60,000	40,000	20,000	
7 書道教育者推薦教室看板料収入	50,000	50,000	0	
8 藝総合保険料収入	160,000	200,000	△ 40,000	
9 会費	120,000	240,000	△ 120,000	
10 公開講座収入	200,000	180,000	20,000	
11 書道教育研修参加料収入	30,000	30,000	0	
12 周年記念事業収入	0	0	0	
13 中日書きぞめ展収入	41,633,500	43,095,000	△ 1,461,500	
14 中日書きぞめ展収入	5,000,000	5,000,000	0	
15 愛の募金収入	3,750,000	3,750,000	0	
16 本部祝賀会収入	11,000,000	11,000,000	0	
17 支部祝賀会収入	1,952,000	2,124,500	△ 172,500	
⑤ 受取寄附金	74,630,500	77,156,000	△ 2,525,500	
⑥ 雑収	0	0	0	
1 普通預金受取利息	500	70	430	
2 会費名簿広告料収入	840,000	0	840,000	
3 宛名ラベル発行手数料収入	200,000	302,000	△ 102,000	
4 雑収	95,000	95,000	0	
5 雑収	5,000	3,000	2,000	
経常収支	1,140,500	400,070	740,430	
経常収支	106,128,020	109,185,670	△ 3,057,650	
(2) 経常費用				
1 理事長報酬	1,115,000	1,575,000	△ 460,000	
2 名譽会長代行報酬	207,000	207,000	0	
3 名譽会副顧問報酬	62,000	93,000	△ 31,000	
4 名譽顧問報酬	41,000	62,000	△ 21,000	
5 学術顧問報酬	112,000	207,000	△ 95,000	

6 企画委員を兼務する評議員報酬	550,000	600,000	△ 50,000	
7 退職料	5,500,000	5,800,000	△ 300,000	
8 臨時職	0	0	0	
9 臨時職	1,000,000	1,000,000	0	
10 臨時職	500,000	500,000	0	
11 臨時職	31,000	35,000	△ 4,000	
12 報 酬	2,385,000	2,596,000	△ 211,000	
13 報 酬	5,859,000	6,011,000	△ 152,000	
14 報 酬	760,300	825,500	△ 65,200	
15 旅費	9,388,000	9,694,000	△ 306,000	
16 食費	2,685,000	2,806,000	△ 121,000	
17 消耗品	1,184,000	2,037,500	△ 853,500	
18 印刷費	16,636,700	14,643,200	1,993,500	
19 光熱費	559,000	410,000	149,000	
20 通 信	5,950,900	6,738,800	△ 787,900	
21 手数料	625,500	634,500	△ 9,000	
22 事務用品	8,000,000	8,014,000	△ 14,000	
23 事務用品	7,531,750	8,778,400	△ 1,246,650	
24 消耗什税	61,000	120,000	△ 59,000	
25 租 税	25,000	25,000	0	
26 委託金	600,000	421,000	179,000	
27 委託金	1,327,000	1,146,750	180,250	
28 委託金	3,122,230	6,522,470	△ 3,400,240	
29 補助費	3,700,000	3,450,000	250,000	
30 補助費	59,000	61,000	△ 2,000	
31 会費	900,000	900,000	0	
32 会費	250,000	250,000	0	
33 会費	6,636,000	6,688,500	△ 52,500	
34 会費	544,000	883,000	△ 339,000	
35 保 険	229,500	238,000	△ 8,500	
36 新 聞	40,000	40,000	0	
37 表 紙	3,150,000	3,250,000	△ 100,000	
38 本部講演会祝賀会費	11,000,000	11,000,000	0	
39 支部展覧会講演会費	1,952,000	2,124,500	△ 172,500	
40 雑 費	0	0	0	
41 減 価	0	0	0	
経常増減	104,278,880	110,388,120	△ 6,109,240	
当 期	1,849,140	△ 1,202,450	3,051,590	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,849,140	△ 1,202,450	3,051,590	
一般正味財産期首残高	96,860,319	104,175,590	△ 7,315,271	
一般正味財産期末残高	98,709,459	102,973,140	△ 4,263,681	2024年3月31日残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	98,709,459	102,973,140	△ 4,263,681	

(3) 事業区分後の正味財産増減予算書

正 味 財 産 増 減 予 算 書

(損益計算ベースかつ事業別に区分したものの)  
令和 7 年 4 月 1 日から 令和 8 年 3 月 31 日まで  
公益社団法人 中部日本書道会

(単位: 円)

科目	公 1	公益目的事業会計 公 2	共通	小計	収益事業等会計 他 1	法人会計	合計	備考
I 一般正味財産増減の部								
(1) 経 常 収 益								
① 基本財産運用収入								
基本財産運用収入		6,020		6,020	0	0	6,020	
② 特定資産運用収入								
特定資産運用収入		250,000		250,000	0	0	250,000	
(3) 会 費 収 入								
理事監事会費収入		259,000		259,000	51,800	207,200	518,000	
評議員参与会費収入		6,540,000		6,540,000	1,308,000	5,232,000	13,080,000	
正会員会費収入		7,004,000		7,004,000	1,400,800	5,603,200	14,008,000	
準会員会費収入		785,000		785,000	157,000	628,000	1,570,000	
協賛会員会費収入		462,500		462,500	92,500	370,000	925,000	
(4) 未 収 会 費	0	0		0			0	
⑤ 事 業 収 益								
寿 書 展 収 入	0	0		0	1,260,000		1,260,000	
支 部 展 収 入	0	0		0	3,995,000		3,995,000	
支 部 学 生 展 収 入	3,850,000	0		3,850,000			3,850,000	
支 部 選 拔 展 収 入	0	0		0	1,570,000		1,570,000	
支 部 研 修 会 収 入	0	0		0	60,000		60,000	
支 部 講 習 会 収 入	0	0		0	50,000		50,000	
普通財団建設補助収	0	0		0	160,000		160,000	
豊 総 合 保 險 科 収 入	0	0		0	120,000		120,000	
会 員 交 流 参 加 料 収 入	200,000	0		200,000			200,000	
公開講座参加料収入		0		0	30,000		30,000	
普通財団参加料収入		0		0			0	
周年記念事業収入	41,633,500	0		41,633,500			41,633,500	
中 日 展 収 入	5,000,000	0		5,000,000			5,000,000	
変 の 募 金 収 入	3,750,000	0		3,750,000			3,750,000	
本部祝賀会収入	0	0		0	11,000,000		11,000,000	
支部祝賀会収入	0	0		0	1,952,000		1,952,000	
(6) 寄 付 金 収 入	0	0		0			0	
寄 付 金 収 入	0	0		0			0	
(7) 雑 収 入	0	0		0			0	
普通預金受取利息	0	0		0		500	500	
会員名簿広告料収入				0		840,000	840,000	
宛名<v>手帳料収入				0		200,000	200,000	
負 担 金 収 入				0		95,000	95,000	
雑 収 入				0		5,000	5,000	
経 常 収 益 計	50,683,500	3,750,000	15,306,520	69,740,020	23,207,100	13,180,900	106,128,020	0
(2) 経 常 費 用								
理事監事報酬				0		1,115,000	1,115,000	
名譽会長報酬				0		207,000	207,000	
名譽会長代行報酬				0		62,000	62,000	
名譽副会長報酬				0		41,000	41,000	
学術顧問報酬				0		112,000	112,000	
創設経緯に因る報酬	495,000			495,000		55,000	550,000	
従業員給料手当	4,400,000			4,400,000		550,000	5,500,000	
退 職 給 付				0			0	
臨時雇賃金	900,000			900,000		100,000	1,000,000	
人材派遣費	250,000			250,000			500,000	
福利厚生費	24,800			24,800		3,100	31,000	
報 償 謝 金	477,500			477,500		2,385,000	2,862,500	
報 償 交 助	5,273,100			5,273,100		585,900	5,859,000	
報 償 交 際	380,150			380,150		380,150	760,300	
旅 費 交 通 費	7,510,400			7,510,400		938,800	8,449,200	
食 糧	2148,000			2,148,000		537,000	2,685,000	

消 耗 品 費	947,200		947,200	236,800	1,184,000	
印刷製本費	11,663,670	1,663,670			1,663,670	16,636,700
光 熱 水 費	447,200		13,309,360	1,663,670		55,900
通信運搬費	5,355,510		5,355,510	595,090		5,950,900
手 数 料	562,950		6,400,000	800,000		6,250,000
事務所賃料	6,400,000		6,778,575	753,175		8,000,000
使 用 料	6,778,575		48,800	6,100		7,531,750
消耗什器備品費	48,800		0	25,000		61,000
租 税 公 課	480,000		0	60,000		60,000
負 担 金	663,500		663,500	663,500		663,500
会場設営費	2,497,784		2,497,784	624,446		3,122,230
寄 託 費	3,700,000		3,700,000	59,000		3,700,000
補助助成	720,000		0	90,000		90,000
法定福利	3,318,000		0	250,000		250,000
会 員 交 流 費	435,200		3,318,000	54,400		6,636,000
対 外 広 報 費	2,520,000		0	40,000		229,500
保 險 料	2,520,000		0	6,930,000		3,150,000
新聞図書費			2,520,000	11,000,000		1,952,000
本部運営会費			0	1,952,000		1,952,000
支部展覧会費			0	0		0
雑 支 出	64,679,659	5,363,670	70,043,329	27,021,581	7,213,970	104,278,880
経 常 費 用 計	△13,996,159	△1,613,670	△303,309	△381,481	5,966,930	1,849,140
2. 経常外増減の部						
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0	0	0	0
経 常 外 費 用 計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△13,996,159	△1,613,670	15,306,520	△303,309	△381,481	5,966,930
一般正味財産期首残高						96,860,319
一般正味財産期末残高						98,709,459
指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額						0
当期指定正味財産増減額						0
指定正味財産期首残高						0
指定正味財産期末残高						0
正味財産期末残高						98,709,459

(4) 資金調達及び設備投資の見込みについて

事業年度	自 令和 7 年 4 月 1 日 至 令和 8 年 3 月 31 日	法人コード	A002493
------	------------------------------------	-------	---------

資金調達及び設備投資の見込みについて

(1) 資金調達の見込みにについて

当期中における借入れの予定の有無を記載し、借入れ予定がある場合は、その借入先等を記載してください。

事業番号	借入れの予定	借入先	金額	使途
			円	

(2) 設備投資の見込みにについて

当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定の有無を記載し、設備投資の予定がある場合には、その内容等を記載してください。

事業番号	設備投資の内容	支出又は収入の予定額	資金調達方法又は取得資金の使途
		円	



# 令和六年度 第四回理事会 承認事項 新審査会員・新正会員の承認

## 第三号議案

### 特別昇格者の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款  
第五条一により、下記の者を依嘱  
特別昇格者としての承認を求め  
る。

この承認は令和七年四月一日付け  
とする。

## 第二部（二名）

上村 寿子 吉田 裕子

## 第四号議案

### 評議員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会運営  
規定第五条の二により下記の者に  
評議員としての承認を求める。  
この委嘱は令和七年四月一日付け  
とする。

## ●評議員

### 第一部（三十九名）

浅野 揺草 安藤 範香  
石川 加翠 伊藤 風珠  
伊藤 蘭徑 内山 雅舟  
長船 志保 海田 幸導  
梶川 朝景 梶田 由華  
久米 雪葉 栗木 美楓  
近藤 峻岳 近藤 清月  
佐藤 光華 杉山 京華  
鈴木 翔山 鈴木 清秋  
鈴木 藍光 祖父江佳扇  
高瀬 清恵 田中 桜花  
永井 静景 長尾 秀麗  
中村 桂華 野田 昌寛

### 第四部（三名）

新井ひろ子 柴田真由美  
藤田 香志  
第五部（二名）  
伊藤 紅彩 富永 飛燕

## 第五号議案

### 正会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会定款  
第五条一号により、下記の者を正  
会員としての承認を求める。  
この承認は令和七年四月一日付け  
とする。

### 第一部（八十八名）

橋本 佳静 長谷川緑光  
林 華香 菱田 萬峰  
平野 煌藍 平野 桃瑠  
藤井 秀堂 本田 吉華  
松浦 華雪 松永 翠峻  
森 富華 森 芳彩  
山本 祥仙  
第二部（八名）  
梶田 女理 栗名 孝枝  
佐藤 典子 杉浦 悦子  
都筑 聖園 松居 光子  
松田 典子 和田美智子  
第三部（十一名）  
伊藤 蘭香 岡 玲風  
九野 恭葩 小寫 芝香  
関村 吟香 田中 葉摘  
千葉 弘子 辻裏 友視  
橋本 佳泉 水野 美舟  
横地 亜紀  
第四部（三名）  
新井ひろ子 柴田真由美  
藤田 香志  
第五部（二名）  
伊藤 紅彩 富永 飛燕

石川 佳翠 伊東 彩楓  
伊藤 山田 稲葉 碧陽  
犬塚 琉理 井上 玄城  
今枝 桃彩 岩根 桂月  
内田 翠澄 大久保寧音  
大島千可子 大谷 祥雨  
大野由美子 大橋 美泉  
大畑 豊泉 大矢 史枝  
小野 遥月 梶谷まち子  
加藤 明美 加藤 溪雪  
加藤真由美 兼村紗也加  
蒲野 綾扇 木根 朋哉  
國立 照雲 小塚 白樹  
後藤 美川 小林 秋月  
児山 浩子 酒井 彩粋  
阪井 青穹 柴田 瑞留  
嶋村 小楓 清水 紀早  
清水 紅花 新貝 愛心  
菅溪 映美 杉浦 克哉  
鈴木 凱登 高橋 香織  
高橋 薫麗 高松 柚花  
田中 恋 中條 仁美  
角田とも子 藤松 浩視  
戸谷 草風 中村 溪月  
中村 星耀 中村真友子  
野田 澄香 羽実 祥鳳  
長谷川琴末 濱中 葵  
林 絵美 林 芳翠  
林 璃音 早野 春扇  
原 尚美 飛田 泰仙  
福士 碧茜 福田 将山  
星野こころ 堀 友奏

堀内 梓未 水谷 清翠  
水野 孝代 水野 乃愛  
三井 蓮孝 三井 和子  
美濃部 純 宮川 桂風  
宮島 佳風 宮永 紅雅  
村山 佑菜 安江 望樹  
矢田 游舟 山崎咲也香  
山田 幽寂 山本 琇幸  
万木 桃風 吉田 恵翠  
吉田 陶染 吉原 清華  
吉松 翠景 吉峯 理櫻  
渡辺 春燕 渡邊 智祥  
足立 葉子 市川 裕子  
岩内すみれ 内田 洋子  
太田 加代 岡田てつみ  
神谷 昌代 是枝 信也  
近藤 尚子 近藤 弘美  
佐野ひろみ 高橋 翠葉  
寺島 恵利 中嶋紀久代  
長縄 澄香 古橋 葉子  
松田 幸子 森 登美子  
山下 晴美  
第三部（三十七名）  
浅井 陽子 池田 剛  
伊藤 愛純 伊藤 園子  
伊藤 美文 井本 千陽  
大森 康耀 笠井帆乃香  
上村 康之 河原津貴子  
木村 歌暖 栗本 陽水  
小西 香織 小林 瑞苑  
小室 桃柯 佐藤香代子  
佐藤 信子 篠崎 綾香  
末岡 伸一 杉本 百桜  
寺尾 裕恵 長江 紅霞  
中島 理花 野田 美奈

花田 圭 樋口 春美  
広浦 須寿 藤田利津子  
堀田 勢津 堀 菜々美  
前田 敏子 真野 蓮音  
三吉 昭江 守屋 青霞  
柳澤 心那 山口 真生  
横井 照子  
第四部（四名）  
井尻 有子 岡田 和恵  
林 淳子 前川 蘭仙  
第五部（九名）  
池田 幸子 石川 祥紅  
井上 石路 江崎 桂  
押田 白蓬 上小倉由美  
近藤 綵春 鈴木 恵雅  
中北 又幻

## 第六号議案

### 審査会員の承認に関する件

公益社団法人中部日本書道会展覧  
会開催規定第九条の規定により、  
下記の者を審査会員としての委嘱  
の承認を求める。  
この承認は令和七年四月一日付け  
とする。

## ●一科審査会員

### 第一部（三十五名）

青山 華塘 安藤 恵  
石井 瑞鶴 伊藤 昌園  
今村 寿鴻 岩田 展穂  
岩田 波鮮 岩田 緑汀  
太田 紫翠 大場 敏充  
岡田 恵香 長田 裕華  
尾之内柳雪 小野田晃志  
神田 醉月 小林 玉芙  
佐々木雅風 鈴木 雲峰

●二科審査会員			
第一部 (三十九名)			
梶川 朝景	梶田 由華		
長船 志保	海田 幸導		
伊藤 蘭徑	内山 雅舟		
石川 加翠	伊藤 風珠		
浅野 揺草	安藤 範香		
加藤 秀慧	杉浦 琇鈴		
第五部 (二名)			
半田 博子	中島祐三子		
第四部 (三名)			
竹内 紫燕	加古 松泉		
内藤 緑風	達 美峰		
中村 一翠	永瀬 紅蘭		
増田 紅葩	福谷 紅華		
村田 籬香	村上 薫仍		
第三部 (十二名)			
大塚 裕子	加古 松泉		
近藤 由果	近藤由紀枝		
永井 友理	古田 祥扇		
村瀬 季舟	森 富華		
第二部 (七名)			
石黒 直子	大嶋由美子		
水野 清花	吉田 美影		
原賀 瑞芳	深谷 恵庭		
花井 明琴	林 華泉		
丹羽 藍水	野村 怜光		
豊永 御風	西垣 美茜		
瀬古 麗峰	土屋 春聲		
関根 玉翠	関谷 蒼玄		
第三部 (十一名)			
伊藤 蘭香	岡 玲風		
九野 恭葩	小寫 芝香		
関村 吟香	田中 菜摘		
千葉 弘子	辻裏 友規		
橋本 佳泉	水野 美舟		
横地 亜紀	柴田真由美		
第四部 (三名)			
新井ひろ子	伊藤紅彩		
藤田 香志	富永飛燕		
第五部 (二名)			
久米 雪葉	栗木 美楓		
近藤 峻岳	近藤 清月		
佐藤 光華	杉山 京華		
鈴木 翔山	鈴木 清秋		
鈴木 藍光	祖父江佳扇		
高瀬 清恵	田中 桜花		
永井 静景	長尾 秀麗		
中村 桂華	野田 昌寛		
橋本 佳静	長谷川緑光		
林 華香	菱田 萬峰		
平野 煌藍	平野 桃瑤		
藤井 秀堂	本田 吉華		
松浦 華雪	松永 翠峻		
森 祥仙	森 芳彩		
第二部 (八名)			
梶田 女理	栗名 孝枝		
佐藤 典子	杉浦 悦子		
都筑 聖園	松居 光子		
松田 典子	和田美智子		

## 第75回記念 中日書きぞめ展賞状授与

授賞式 令和7年3月16日(日) 14時～15時半 会場 ナディアパーク 3階 デザインホール

### 第七十五回記念中日書きぞめ展授賞式を終えて

褒賞部長 水野 峯 翠

令和七年三月十六日(日) ナディアパーク三階デザインホールにて第七十五回記念中日書きぞめ展授賞式を挙行政致しました。

事前に葉書にて出欠を提出していただき、受賞者の方は指定席といたしました。また、本年も同伴者の方は二名までの入場とさせていただきます、授賞式には立ち見の方もなく定員の五〇〇名近い方が着席し、受賞を喜び、讃えあうことができました。

式典は、来賓に本会役員の先生方にご臨席を賜り、次第に沿って、伊藤仙游理事長のご挨拶、第一教育部長の審査総評があり、その後、厳かに肅々と授与を行い無事終了いたしました。最後に、衆議院議長賞、参議院議長賞、文部科学大臣賞の三名の方と本会理事長、副理事長の方々と共に記念写真を撮りました。今回は名古屋市内でのマラソンの日を回避したことにより、受賞者の方も余裕を持って受付を済まされ、予定通り開式することができました。ご出席いただきました受賞者及び同伴者の方々のご協力に感謝申し上げます。また、ご指導ご協力いただきました指導者の先生方に厚く御礼申し上げます。

次年度も本年と同時期に開催する予定でございます。本年同様、多数のご出品をお願い申し上げます。



上位賞入賞者



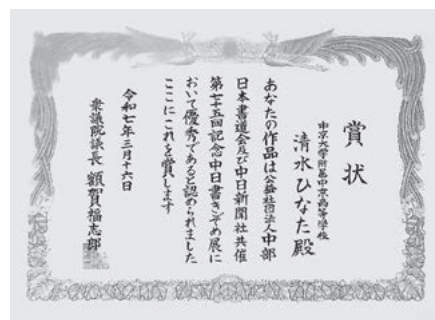
賞状授与

# 第75回記念 中日書きぞめ展受賞の喜び

## 衆議院議長賞を受賞して

中京大学附属中京高等学校 一年 清水ひなた

この度は、第七十五回中日書きぞめ展に於きまして、「衆議院議長賞」という大変名誉ある賞を頂き、誠にありがとうございます。受賞の知らせを聞いた時は、驚きとともにとても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。いつもご指導くださっている書道教室の先生、高校書道部の先生に感謝申し上げます。



賞状

私は小学二年生の時から書道を始めましたが、先生はいつも私の字を褒めてくださり、こうするとより良くなるという助言を丁寧にしてくださるので、これまで書道を楽しみながら続けることができています。小学生の時に同じ教室の中学生に憧れ、いつか自分もこんな風に上手な字を書けるようになりたいと思います。高校生になり、古典の作品にふれる中、色々な書風を目にし、書道の奥深さに一層魅了されるようになりました。

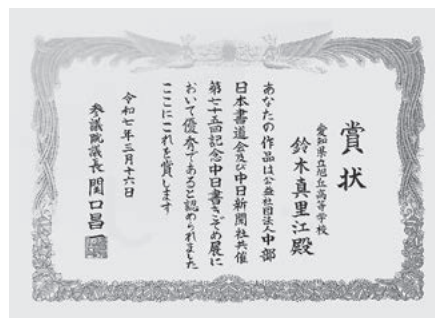
今後毎日「書」を楽しみながら、精進していきたいと思っています。



## 参議院議長賞を受賞して

愛知県立旭丘高等学校 一年 鈴木真理江

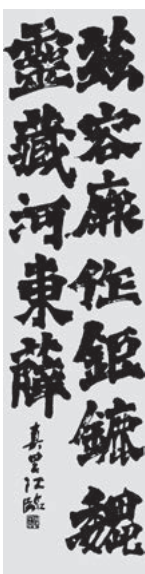
この度は参議院議長賞という栄誉ある賞に選んで頂き、ありがとうございます。以前から憧れていたのもあって、受賞を知った時には感激で胸がいっぱいになりました。



賞状

今回の作品でとりわけ意識したのが「力強さ」です。かすれやにじみ、筆を動かす手の速さなど、自分なりに試行錯誤しながら作品づくりに励みました。改善すべき点を的確にご指導くださり、今回の受賞まで導いてくださった先生には、心から感謝申し上げます。また、作品づくりの中で、わずかながらも自分の成長を感じられたときには本当に嬉しく、書を好きな気持ちが一層強くなりました。

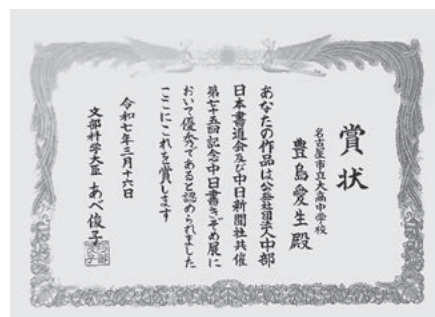
この受賞を励みに、今後も書と真摯に向き合い、日々向上していけるように精進していきたいと思っています。



## 文部科学大臣賞を受賞して

名古屋市立大高中学校 二年 豊島 愛生

この度は、第七十五回中日書きぞめ展に於きまして栄誉ある文部科学大臣賞を頂き、誠にありがとうございます。受賞の知らせを受けた時は、努力が結果に繋がりと、とてもうれしく思います。これも先生の温かいご指導のおかげです。ありがとうございます。



賞状

今回の作品は「至誠動天地」です。誠実な態度は天地をも動かすという意味だそうです。私は、この作品を書いていく上で、見た人に迫力を届けられるような力強い線、勢いのある字を書くことを意識しました。線と線の繋がりや個々の字としてだけではなく、全体を見た場合の中心の取り方にも気を配りました。難しいこともありましたが、諦めずに努力をしたことが今回の受賞に結びついたと思います。

それがまさに「至誠動天地」の意味と似ていて、達成感がより増しました。これからも、見る人に迫力を与えられる力強い字を書けるよう、自分らしく努力していきたいです。





# 第七十五回記念 中日書きぞめ展入賞者

## 衆議院議長賞

高校一年 清水ひなた  
参議院議長賞

高校一年 鈴木真里江  
文部科学大臣賞

中学二年 豊島 愛生  
愛知県知事賞

中学三年 山本 琉稀  
中学一年 酒井 結生

小学六年 真田 千晴  
岐阜県知事賞

高校二年 松山 明樹  
高校一年 入江 美羽

小学三年 藤森 有純  
三重県知事賞

中学三年 前岡由愛来  
愛知県知事賞

中三 山本 琉稀

龍池望五雲  
中三 山本 琉稀

理想実現  
中一 酒井 結生

愛知県知事賞

小六 真田 千晴

富士白雪  
六 真田 千晴

小学五年 坂 梨湖

小学四年 鈴木ひのね

高校三年 濱中 葵

小学五年 村瀬 清佳

小学六年 中陳 南美

中学二年 加藤 彩羽

小学一年 奥田 玲

小学三年 清原 乙華

小学三年 稲葉 可純

小学一年 小川心々菜

紅蓮橋雪白  
高二 松山 明樹

岐阜県知事賞

廣川玉賀蘭汗造  
弥勒像願令  
高二 入江 美羽

岐阜県知事賞

友だち  
小三 藤森 有純

愛知県教育委員会賞

中学三年 飯田 環

小学四年 白木 稜介

高校二年 中村 綾花

小学二年 佐藤京枝羅

小学一年 杉本結羽花

小学二年 早川 葵

小学一年 森脇 大和

小学一年 高木 莉奈

小学三年 舟橋 空良

夫靈跡誕生  
中三 前岡由愛来

三県知事賞

希望の光  
五年 坂 梨湖

三県知事賞

共に歩む  
小四 鈴木ひのね

## 記念賞

高校三年 宇佐見真吾

国嶋 莉子

清水 真弥

橋本 京佳

加藤 有稀

酒井 愛菜

塚本 愛実

清水 風花

福光 由芽

中日新聞社賞

小学五年 伊藤日々人

小学四年 中山 琉嘉

小学五年 陸 慧瞳

小学四年 立石ゆりの

## 中日書道会賞

高校二年 青山 果愛

池田 百音

小野 葉奈

河野 佑郁

森本 彩月

吉川 和花

石川 明咲

陸 慧瞳

中山 琉嘉

東海テレビ放送賞

小学四年 鈴木美央里

小学二年 伊藤日々人

小学四年 陸 慧瞳

小学四年 立石ゆりの

中学二年

佐藤 希美

宮部 珠妃

大田あんず

荻原 万侑

佐藤 友理

堀内 柚希

宮地 理央

小畑 初芽

志智 悠真

小学四年 立石ゆりの

小学二年 鈴木美央里

小学四年 陸 慧瞳

小学四年 立石ゆりの

小学四年 仲 蓮助

中学三年

杉山 さら

鈴木 楓果

富田 悠介

山口 結愛

吉川 陽香

佐藤 希美

宮部 珠妃

大田あんず

荻原 万侑

佐藤 友理

堀内 柚希

宮地 理央

小畑 初芽

志智 悠真

立石ゆりの

鈴木美央里

陸 慧瞳

立石ゆりの

仲 蓮助

応募点数 …… 11,867点

名誉会長賞59名  
理事長賞63名  
推薦289名  
奨励賞516名  
特選901名  
準特選3,534名  
秀逸2,979名  
佳作2,344名  
入選1,085名

名古屋市長賞3名  
愛知県教育委員会賞3名  
岐阜県教育委員会賞3名  
三重県教育委員会賞3名  
名古屋市長賞3名  
記念賞14名  
中日書道会賞10名  
中日新聞社賞20名  
東海テレビ放送賞10名  
CBCテレビ賞10名

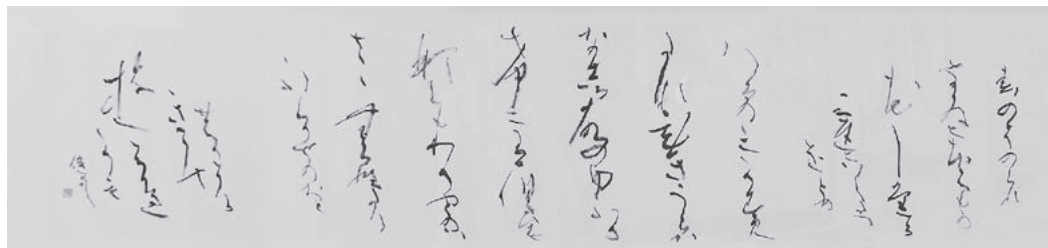
衆議院議長賞1名  
参議院議長賞1名  
文部科学大臣賞1名  
愛知県知事賞3名  
岐阜県知事賞3名  
三重県知事賞3名  
名古屋市長賞3名  
愛知県議会議長賞1名  
岐阜県議会議長賞1名  
三重県議会議長賞1名

入賞数

## 団体賞

第一位 牛刀会  
第二位 墨游会  
第三位 書玄会  
第四位 牧書会  
第五位 大朴会

# 第11回日展 名古屋展 愛知県知事賞・CBC 賞・ 中日新聞社賞・東海テレビ賞受賞者



## 愛知県知事賞・中日新聞社賞を受賞して

愛知県知事賞

中日新聞社賞

塚田 俊 可

この度の日展名古屋展で立派な賞を頂戴し有難うございました。思いがけない受賞で、身のひきしまる思いと責任を痛感いたしております。

古典の勉強は関戸本古今集や高野切一種、三種を皆がしている時に、私は初めての古典に継色紙をえらびました。歌一首を横形式で書く継色紙に魅了され、臨書、做書をくりかえしくりかえし書きました。横形式の作品に漢字の要素を加え、字の大小で山場づくり、など作品づくりに励んでまいりました。動の中に静を、清らかな書を書きたいと願っています。日々修行——これからもよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

## CBC賞を受賞して



CBC賞

加藤 紫 雲

この度は第十一回日展名古屋展二〇二五に於きましてCBC賞を賜り誠にありがとうございました。思いもよらぬ朗報に驚きと喜び実感する迄に幾分の



## 東海テレビ賞を受賞して



東海テレビ賞

伊藤 小 游

この度は第十一回日展名古屋展におきまして思いがけず東海テレビ賞を賜り、驚きと共に身に余る光栄に感謝の気持ちで一杯でございます。これも偏に師の力のこもったご指導諸先生方のご指導ご高配のお蔭と、心より感謝申し上げます。又、これまで書が続けてこれたのも支え続けてくれた家族の協力のお蔭であると感謝しております。

今回は二尺×二・六尺の用紙に六行という多数字に取り組みました。墨量と行間・余白の美しさ、力強さ等、留意すべき点や研鑽すべき点が数多くあり、まだまだ未熟な身であると思っております。今回の受賞を励みに一層気を引き締めて精進して参る所存でございます。

深い感謝を申し上げますと共に一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

す。これからもこの賞を励みにして感謝の気持ちと初心を忘れずより一層努力研鑽を重ね精進する所存です。今後共何卒宜しくご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

読売書法展・毎日書道展  
本年度当番審査員

第四十一回 読売書法展

◆審査顧問 樽本 樹邨

◆特別賞選考委員 鬼頭 翔雲

◆特別賞選考委員 岡野 楠亭

◆審査進行・漢字 伊藤 仙游

◆審査進行・篆刻 岡野 楠亭

◆当番審査員

〈漢 字〉 伊藤 昌石

伊藤 龍仙

梶山 夏舟

黒木 虚宇

酒井 青桐

荒木 敬子

近藤 浩乎

山本 雅月

香月 久遠

日比野妃扇

◆当番審査員

〈漢字Ⅰ類〉 丸山 聖峰

〈漢字Ⅱ類〉 鈴木 松厓

〈近代詩文書〉 後藤 啓太

武内 峰敏

新入会員紹介  
(四月分)

●本 部

浅井 陽子

浅野美智子

足立 葉子

伊神 沙季

池田 幸子

池田 剛

池田乃々葉

池戸 七和

石垣 里佳

石川 祥紅

伊藤 愛純

伊藤 早苗

伊藤 山田

伊藤 園子

伊東三慧子

伊藤 美文

伊藤 義之

犬飼 張華

犬塚 琉理

井上 玄城

井本 千陽

岩内すみれ

江崎 桂

大島千可子

太田 加代

大橋 美泉

大畑 豊泉

大森 康耀

岡村 吉彬

小野心丸知

笠井帆乃香

加藤 溪雪

上小倉由美

上村 康之

神谷 昌代

河原津貴子

木根 朋哉

木下 歩美

木村 歌暖

栗本 陽水

小西 香織

小林 瑞苑

小室 桃柯

近藤 華仙

近藤 尚子

佐伯つた子

酒井 彩粹

阪井 七海

笹木 登子

佐藤香代子

佐藤 信子

佐野ひろみ

篠崎 綾香

柴田 瑞留

清水 紅花

清水 真弥

白木 友梨

新貝 愛心

神野 晴

末岡 伸一

杉浦 克哉

杉本 百桜

杉本 瑞映

鈴木 凱登

武井こむぎ

田中 恋

田名瀬友恵

寺尾 裕恵

寺島 恵利

中島 理花

中西 桜穂

中村 溪月

中村 星耀

中村 朋恵

野田 澄香

野田 美奈

橋部 天音

長谷川琴未

濱中 葵

濱中勇之介

林 璃音

早野 春扇

樋口 春美

飛田 泰仙

三吉 昭江

守屋 青霞

安江 望樹

山川 有響

山口 真生

山崎咲也香

山下 翠庭

山田 菜々

結城 凜佳

万木 桃風

横井 照子

今枝 桃彩

岩根 桂月

内田 翠澄

加藤 明美

加藤 真郷

葛原 青蘭

國立 照雲

嶋村 小楓

鈴木 姫那

高橋 香織

高松 柚花

谷口 朝花

角田とも子

中村真友子

林 芳翠

原 かをり

原 尚美

吉田 恵翠

渡邊 花翠

●半田支部

伊藤 薫子

清原 乙華

花田 圭

松井 尚楓

柳澤 心那

井尻 有子

大久保寧音

岡田 和恵

福士 碧茜

矢田 游舟

吉峯 理櫻

市川 裕子

林 淳子

早崎 桂子

日高 百扇

星野こころ

堀内 梓未

宮永 紅雅

村山 佑菜

山本 貴泉

●岐阜支部

伊東 彩楓

大池祐一郎

大野 夏紀

梶谷まち子

兼村紗也加

川本 緑

児山 浩子

庄村 清泉

多湖 裕美

奈良 穂泉

西井 真吾

羽実 祥鳳

早崎 桂子

日高 百扇

星野こころ

堀内 梓未

宮永 紅雅

村山 佑菜

山本 貴泉

第七十六回 毎日書道展

◆当番審査員

〈漢字Ⅰ類〉 丸山 聖峰

〈漢字Ⅱ類〉 鈴木 松厓

〈近代詩文書〉 後藤 啓太

武内 峰敏



## 塾総合保険のご案内

本会では、書道塾を運営されている会員の先生方のバックアップと、塾生の安全と安心のために「塾総合保険」を行っております。

生徒一名に付年額一四〇円で大きな保障となっております。年度途中での加入もできます。保険期間は、その年の十月一日から翌年十月一日までとなります。

この保険は、本会と保険会社が直接契約しているものであるため、少人数でのご加入がで、有利な条件となっております。事故はいつ起こるかわかりません。生徒さんの安心と安全のために是非ご加入ください。又既に加入されている皆さんは十月一日が期限ですから、忘れずに契約更新を行って下さい。資料請求、申し込みは本部まで。

補 償 内 容			
賠償事故	塾経営者	対人賠償てん補限度額	1 名 2,000万円 1 事故 1 億円
		対物賠償てん補限度額	1 事故 100万円
	生徒 法定監督義務者	賠償責任てん補限度額	1 事故 2,000万円
傷害事故	死亡・後遺障害保険金額		100万円
	入院保険金日額		1,000円
	通院保険金日額		500円
	保険料（生徒 1 名につき年額）		140円

(注) 賠償事故の場合、1 事故につき1,000円を自己負担していただきます。生徒の賠償責任てん補限度額は、対人、対物賠償合わせて1事故のみの適用となります。

### 訂正とお詫び

会報二一四号、第十一回日展入選者掲載の太田美楓先生は初入選でした。お詫びして訂正いたします。

### 訃 報

心より哀悼の意を表し、ご報告申し上げます。

(厚生部)

○ 1 月 9 日	評議員	菅沼 貴香氏	享年 86
○ 1 月 17 日	評議員	菅沼 武彦氏	享年 86
○ 1 月 19 日	評議員	関戸 海越氏	享年 33
○ 1 月	評議員	関戸 彩乃氏	享年 78
○ 1 月 27 日	評議員	佐藤 慶雲氏	享年 98
○ 2 月 8 日	評議員	渡辺 湖風氏	享年 83
○ 2 月 14 日	評議員	渡辺 美津子氏	享年 83
○ 6 年 11 月 15 日	評議員	堀場 國南氏	享年 83
事後報告	評議員	亀山 雪峰氏	享年 83
	評議員	亀山 文子様	享年 83
	評議員	平田 蘭石氏	享年 83
	評議員	太田 朴仙氏	享年 83

## 会費未納の方にお願ひ

新年度がスタートしました。

令和六年度会費未納の方は、至急お納め下さい。

(正会員及び準会員の方で未納の方)

本部会員は、郵便振替 008901614420。

支部会員は、各支部会計担当者にご連絡下さい。

## 住所変更、改姓、改号、社中変更等

変更事項は本部まで一報下さい。

052 (583) 1900

## 社中展・個展のご案内

### ○第三十九回 書法研究 吉祥展

会長 岡本 桃香

会期 令和七年八月二十九日(金)～三十一日(日)

会場 安城市民ギャラリー 一階 AB 展示室

本会会員による書展のご案内を、会報及びHPにて掲載させていただきます。

会報掲載には展覧会案内原稿、HP掲載には展覧会案内ハガキをお送りください。尚、展覧会原稿及びハガキは、必ず封書にてお送りください。次号掲載は、十月中旬～二月初旬開催の展覧会となります。

お申し込みは、八月二十日までに本部までお願いします。

会報発行回数の変更に伴う掲載期日・申し込み月変更にご注意ください!!

編集部

### あとがき

中日会報二一五号をお届け致します。

本号では、令和六年度理事・評議員会、顕彰、講演会、祝賀懇談会、書きぞめ展等のご報告をさせて頂きました。昨年度は多くの先生方が、ご受賞の栄に浴されましたことは、中日書道会の書における多面性や多彩さ、先生方の実力の高さの表れであったかと思えます。また、書きぞめ展での若い方々の活躍も、素晴らしく頼もしく感じました。多くの学生の方々が中日書道会へ入会いただき、書道を続け、書道文化の伝統を継承する一助になっていただければ幸いです。

中日書道会で初めて支部として設立されました一宮支部が、創立七十周年を迎えました。一歩一歩の歩みの積み重ねがここにもございます。各支部先生方の地道な事業運営も宜しくお願ひいたします。

編集部

# 支部だより(令和六年度下半期)

## 一宮支部

### ●研修会

日時 令和六年十月二十七日(日)  
タイトル 「ツキ板を使って楽しい色紙を作りましょう」

会場 一宮市民会館  
参加者 六十名(内、会員外二十四名)  
一宮支部相談役則武穹先生を講師にお迎えし、ツキ板を使用した色紙を作成しました。参加者各自が、好きな文字を書き、自由にツキ板で装飾して素敵な作品に仕上げました。

### ●第六十九回一宮支部展

日時 令和六年十一月二十三日(土)  
二十三日(日)  
会場 一宮スポーツ文化センター  
出品者 支部員 一五五名  
青年部 個人一名 二団体

第七十九回一宮市芸術祭参加事業の一環であり、本部からは理事長伊藤仙游先生はじめ、副理事長岡野楠亭先生、同加藤裕先生、同松下英風先生、同横井宏軒先生の玉作を展示いたしました。また、支部相談役則武穹先生にギャラリートークをしていただきました。

### ●第五十二回一宮支部学生書道展

支部展と同時開催  
総出品点数 二七九五点



支部展



学生展



学生展カレンダー書き



講演会

約一九〇〇名にご来場いただき、カレンダー書きのイベントも大好評でした。担当役員をはじめ皆様のご協力のお陰と感謝致します。

### ●支部創立七〇周年記念展

私の逸品「宝の書」  
支部展と同時開催

### ●支部集会

日時 令和七年一月二十六日(日)  
会場 一宮商工会議所  
出席者 八十三名

本部より副理事長松下英風先生、同横井宏軒先生にご臨席賜り、令和六年度事業報告と令和六年度収支決算書、並びに令和七年度事業計画案が承認されました。

### ●支部講演会

日時 令和七年一月二十六日(日)  
会場 一宮商工会議所  
講師 愛知東邦大学客員教授  
増田 孝先生

演題 「本阿弥光悦の書の魅力」  
聴講者 一〇四名(内会員外九名)  
講師の先生が所蔵されている実物の軸装を拝見しながら、読み方等細かなご指導をさせていただきました。

### ●一宮支部創立七〇周年記念祝賀交流会

日時 令和七年一月二十六日(日)  
会場 一宮商工会議所  
参加者 (来賓十九名、会員六八名)

## 半田支部

### ●研修バス旅行「豊橋筆の工房を訪ねて」

令和六年十一月十七日、参加者十七名(一般参加四名を含む)

近年は現地集合にて開催していましたが本年は当初計画通り「バス旅行」として実施することが出来ました。小型バスに揺られながら車内では参加者の懇親が深められ、工房にて実際に作業を見学することが出来ました。バスを利用することで時間を有効に使い、とても有意義な研修旅行になりました。

### ●支部展

令和六年十二月十四・十五日  
半田市福祉文化会館 (六十八点展示)

当初九月予定でしたが、施設側の都合で十二月での開催となりました。展示も講堂ではなく他の部屋となりましたが、キャパも十分あり利用料金も節約できたので、今後は当室にて実施することといたします。

### ●支部集会・講演会等

令和七年三月二日  
集会 半田市福祉文化会館  
四十名参加

支部名誉顧問および横井副理事長、村瀬理事にご臨席いただきました。

議案は全て承認されました。  
・講演会 三十名(一般参加あり)  
講師 半田市博物館館長 関正樹様



豊橋筆工房



支部展集合写真

### テーマ「文化財について」

文化財とは、先祖が長い時間をかけて守り伝えてきた貴重な文化の財産。過去から未来への「贈り物」であり「宝物」(資料より)指定文化財はコミュニティが中心となつて守り、後世に伝えなければいけないという使命を感じました。

・本部役員を囲む会  
回 鮫魚太郎 二十名  
横井副理事長、村瀬理事を囲む会を開催しました。参加した会員にはとても有意義な会となりました。



## 西三河支部

## ●支部研修会

日時 十月二十九日(火)  
場所 徳川美術館  
内容 秋季特別展「魅惑の源氏物語・  
宮廷文化の華」  
ボランティアの方による解説を  
聞き鑑賞。その後、宝善亭にて  
昼食会。

参加者 二十六名

## ●支部会員展

会期 二月十九日(水)  
～二十三日(日)

場所 岡崎市美術館

出品者 一四二名

入場者 四八二名

本部から理事長、副理事長四名の出品を  
いただき、会場も一段と重厚さを感じられ  
ました。岡崎のケーブルテレビ「チャンネ  
ルミクス」の取材があり、会期中に放映さ  
れました。



研修会「徳川美術館」



支部会員展会場風景



支部集会あいさつ



講演会料紙の鑑賞

## ●支部集会

日時 二月二十二日(土)  
午後二時

会場 岡崎商工会議所

本部から伊藤理事長、村瀬理事兼庶務部  
長にご臨席いただき、事業報告、会計報  
告、事業計画、役員改選などの審議をいた  
だき、いずれも承認されました。

## ●支部講演会

日時 二月二十二日(土)  
午後三時

会場 岡崎商工会議所

参加者 八十三名

講師 中部日本書道会理事  
村瀬 俊彦先生

演題 「かなと料紙」

かなで使用する筆、墨、硯などを紹介さ  
れ料紙については多種にわたる実物を鑑賞  
し、わかりやすく説明していただきました。  
その後、先生による揮毫があり、流麗  
な筆さばきに魅了されました。

## 東三河支部

## ●研修旅行

とき 十月二十七日(日)

ところ 佐川美術館・宇治平等院・光る

君へ・「宇治大河ドラマ館」

秋雲の中、紫式部「源氏物語」ゆかりの地  
光る君へ「宇治大河ドラマ館」へ行きまし  
た。平安時代の衣装や小道具を見、文化・  
歴史を体感することができました。昼食を  
早く食し藤原氏ゆかりの平等院へ行く人も  
いました。予定の佐川美術館に不具合が発  
生し、急遽、奈良国立博物館へ行きました。  
仏像館では金峯山寺の金剛力士像を間近に  
圧巻の迫力でした。雨にも降られず楽しい  
研修の旅を終えることができました。

## ●第四回 東三河こども書道展

とき 一月二日(木)

～十三日(月)

ところ こども未来館

「はなこころ」

企画展示室

出品点数 二、五五六点

今年度は、豊橋市の小  
学校 十七校が出品。入  
賞作品十七点が選ばれま  
した。入賞作品、優秀作  
品は壁面に掲示し、その  
他の作品は学校ごとに



一日研修旅行



講習会



第4回こども書道展

ファイルにまとめて展示いたしました。表  
彰式では親子で作品の前に立ち、写真撮影  
をする姿もみられ、来年への意気込みなど  
を話していました。

## ●講習会

ところ 二月二十三日(日)

今回は溶接体験教室にて、オリジナルの  
文鎮を制作いたしました。安全のため溶接  
用の防護服を着用し思い思いに手作りの文  
鎮作りを楽しみました。



## 濃飛支部

## ●研修旅行

郡上八幡城址へ行く

濃飛支部の年間行事の一つである研修旅行。十一月二十四日、今年は郡上八幡城跡巡り、行事の一環として実施。郡上八幡城跡は東海北陸道を車窓からチラッと眺める事はありませんでしたが行ったのは初めてでした。

市川観光さんをお願いし、岩村―武並―下呂と乗車し郡上市へ。丁度天候に恵まれ私としては初めての下呂から郡上市への道、キョロキョロ眺め乍ら行きました。秋



晴れで大勢の観光客で賑わっていました。

記憶は定かでないが数十年前NHK大河ドラマ「功名が辻」（主演、仲間由紀恵さん）で一豊と千代の物語。千代が嫁いだ時の持参金で夫に馬を買い与えた事等かすかに思い出しました。当時は漠然と観ていた現場が「ここだったんだ」と思いを巡らせました。

立派な山城に紅葉が映えて絶景なり、多くの人がスマホを翳していました。

参加者が少なく残念でしたが挙行出来てよかったです。少人数の支部なれど行事を遂行し見聞を広げ切磋琢磨して頑張ったゆき度いです。親切な運転手さんで楽しい旅が出来有難うございました。

“書の会で郡上八幡城址へと

白亜の天守紅葉映える”



## 北勢支部

## ●研修会

日時 十一月十七日（日）  
行先 石山寺・源氏物語ミュージアム  
など

参加者 二十二名

桑名駅からバスは出発、土山サービスエリアで休憩、二十二名の自己紹介を終え、紅葉の車窓を楽しみながら石山寺に到着。寺名の由来である硯石灰の大きな岩の前で記念撮影をし、それぞれが奈良時代に建立された本堂、美しい紅葉の庭を散策した。国宝の多宝寺等は古人の偉大さをしみじみ感じる歴史深い所であった。寺に隣接した「洗心寮」で昼食、とても優しいおいしい料理でした。宇治の源氏物語ミュージアムでは、大河ドラマで今人気の所、屏風に残る



研修会 石山寺

平安時代の仮名書や歌に感動し、今も残る墨の美しさに見入った。日本の平和に感謝し、帰路に。天気にも恵まれ渋滞もなく、楽しい充実した一日でした。

## ●講習会

日時 二月二十四日（月・振替休日）  
会場 四日市市文化会館第四ホールA  
参加者 二十七名

ミニ屏風を作る手ほどきを受け、そこに自分の書いた書を飾り、バラエティで華やかな作品制作を目指すことをねらいに講習を進めた。しかし実際には屏風を作ることと時間的に精一杯で、作品揮毫は自宅に戻ってする事になった。屏風はA5サイズ程度の二曲屏風で、縦にも横にも開き展示の工夫が広がるものである。次の支部展で展示を楽しみにしたい。



講習会 ミニ屏風作り



## 中 南 勢 支 部

## ●第三十七回中南勢支部展

会期 十月十六日(水)～二十日(日)

会場 三重県立美術館県民ギャラリー

出品点数 七十三点(賛助出品含む)

入場者数 四二〇名

本部から名誉副会長鬼頭翔雲先生の作品をはじめ理事長、副理事長先生の作品を賛助出品していただき三十七回の支部展を開催いたしました。遠方よりご来場いただいた方、また子供たちの作品も併せて展示しましたのでご家族揃ってご来場していただきました。

「中日新聞津市民版掲載・ふるさと新聞掲載・ZTV放映」

## ●集会

日時 十月十九日(土) 二時半

会場 同美術館講堂

出席者数 四十名

本部より第一経理部長磯谷凌聴先生・編集部長林柏堂先生のご臨席を賜り六年度事業報告、収支決算報告、七年度事業計画案、予



第三十七回中南勢支部展



講演会



支部研修会

算案を報告し承認されました。

## ●講演会

講師 能楽協会名古屋支部理事

長田 郷先生

演題 「能について」

支部集会上に引き続き、同美術館講堂にて参加型講演会が行われました。「高砂」「融」「砧」「人間五十年」の謡を先生のお手本に続き、皆で声を出し一通り歌うことができました。先生は津市の方で、各地で公演されています。

## ●支部研修会

日時 十一月十七日(日)

場所 滋賀観峰館・石山寺紫式部展

先ず観峰館では常設の展示はもろろんのこと「近江ゆかりの書画」、特別に清代の金農・楊岷・何紹基の作品も鑑賞することができました。紫式部展では紫式部と源氏物語の背景を知ることができました。昼食場所では北勢支部の皆さんと出会うことができました。

## 岐 阜 支 部

## ●岐阜支部事務局会議

第四回 令和六年十月九日(水)より五

回、六回、第七回と支部事務局全体会議、講演会、研修旅行、支部報についての協議を重ねた。

## ●支部研修旅行

日時 令和六年十月十五日(火)

十一時

場所 木曾川の昼鵜飼

現地集合、解散

参加者 三十名

屋形船に乗船、説明を聞きながら木曾川の遊覧と食事、休憩後全国で唯一の女鵜匠から鵜飼の説明を聞き、再乗船で鵜飼観覧後再び遊覧をし犬山城等を見学しました。昼なので鵜の動きも良く見え、昼食もよ



研修旅行「木曾川昼鵜飼」

## ●事務局全体会議、講演会、講師を囲む会

日時 令和七年二月二十四日(月・祝)

会場 岐阜キャッスルイン

・事務局全体会議 午前十時半～無事終了・講演会

参加者 五十四名

講師 本部副理事長 松下英風先生

演題 「私の書」

本部よりご来賓として理事長伊藤仙游先生をお迎えし、ご挨拶を賜りました。

その後講師松下英風先生の講演となり、最初にご自分の書との関係性、父親であり師匠の松下芝堂先生の書歴。師匠としての付き合い方等を話されました。

次に淡墨を磨られ筆をとりゆっくり線を引き、その微妙な筆の動き、軌道を詳細に説明されて一同見入っております。続いて何枚も二文字句を揮毫されて大層充実した時間を過ごしました。

会場を変えた「講師を囲む会」も先生のお話の事等、盛況のうちに閉会しました。



講演会